

## 西岡力「韓国におけるアンチ反日の動きについて」

**西岡** 私の方からは、「韓国におけるアンチ反日の動きについて」ということでお話をさせていただきます。まさにそのアンチ反日の動きの一つが、鄭安基先生の今日の講演の内容であり、『反日種族主義』という本なのですが、2019年から始まったと言えます。

2018年10月に、韓国の最高裁判所が戦時労働者への賠償金の支払いを日本企業に命じる不当判決が出ました。原告には徴用された者が一人もいませんでしたから、戦時労働者が言葉遣いとして正しいんです。12月には韓国海軍の巡洋艦が自衛隊の哨戒機に攻撃用レーダーを照射する事件があって、日韓関係が最悪と言われるところまで行っただ。これが文在寅政権下で起きたことです。その次の年に『反日種族主義』が出ました。2019年7月です。11月には日本語版が出ました。その年の8月に文大統領が二度と日本には負けないという演説をしました。あたかも日韓で戦争が起きているかのような演説が行われたんですね。そのような反日をしていたら日韓関係がおかしくなるだけではなく、韓国がダメになるという危機意識を持つ韓国人が増え始めます。先ほど、鄭先生も韓国人が反日に囚われていて日本の統治時代にあったことを正しく見ないので、韓国人が韓国の建国についてわからない、韓国人がいつ国民意識を持ったのかについてわかっていない。それが韓国の今の危機の根源だとおっしゃいましたが、まさにその問題意識から『反日種族主義』が出されたのです。

文大統領の演説は8月15日に行われました。この日は韓国の独立記念日なので反日が盛り上がる時なのですが、韓国の保守派が韓国の国旗である太極旗を持って、大規模な反文在寅デモをやりました。この時は10万人も集まりました。一方、左派はロウソクを持って反日デモをやりましたが、そちらは5万人しか集まらなかった。そして保守派のデモで弁士たちは反日を一言も言いませんでした。その中の弁士の一人が「親北反日は愛国ですか？ 皆さん反日は愛国ですか？」と言うと、デモ隊の人たちが「違います」と叫んだんです。「日本は敵国ですか？」と言うと、「違います」と叫びました。「親北は愛国ですか？」と言うと「違います」。「北朝鮮は味方ですか？」「違います」。そして「親北反日は反逆です」と言う、デモ隊は「そうだ」と答えました。最後に「親北反日の文在寅大統領を弾劾しなければなりません」というスローガンを叫んだんです。

そこには韓国の国旗がたくさん翻っていましたが、アメリカの国旗もあった。そして数は少ないけれど日の丸もありました。そういうことが8月15日の韓国で起きていたんですね。このまま反日をやっていたら韓国がおかしくなるという危機感が広まりつつあった。

そういう中で、2019年の12月に日本大使館前に建っている慰安婦像を撤去せよというデモが始まります。最初は『反日種族主義』の共著者でもある李宇衍（イ・ウヨン）さんが一人でやりました。

この写真にあるプラカードには、慰安婦像を撤去しようとか、水曜集会を中断しようとか書いてあります。すると、突然暴漢が襲って来ました。蹴飛ばされて、プラカードを壊されたのですが、それをそのまま破れたところを持って李さんが立っています。



2019年12月11日、慰安婦像反対デモをして暴行される李宇衍氏

【<https://jinfp.jp/wp-content/uploads/2019/12/4c93dfec58ab8b12a24294cf46b361c0.jpg>】

その次の週には小麦粉や卵を投げられたりもしました。最初は一人ですから、何もしないで立っていたんです。私は李さんに危ないから止めるように電話で言ったのですが、彼は反日の牙城に挑戦しなければならないと言って、止める気配がない。私も2月に様子を見に行きましたけど、西岡がいると周囲にバレたらもっと迷惑をかけるかもしれないと思ったので、マスクをして眼鏡をして帽子をかぶって、一緒に静かにプラカードを持っていました。

韓国では学者が書いた反日を批判する歴史の専門書は存在していましたが、一般人に向けて学者が反日を批判する歴史書を出して、それが10万部というベストセラーを記録しました。その後、韓国の保守派のデモで、反日こそ売国だというスローガンが叫ばれ、そして12月には慰安婦像の横で慰安婦像撤去のデモが始まった。2019年が実は一つの転機だったのです。

その後、李宇衍さんから連絡があって、私が出した朝鮮人戦時労働者問題に関する『でっちあげの徴用工問題』という本を韓国語に翻訳したいと言ってきました。この時も止めろって言ったんですよ。危ないぞ、と。しかし彼は、自分が親日派だと言われて非難されることによるマイナスよりも、韓国で紹介されていない日本の保守派の議論を紹介することによって韓国が得られる利益の方が大きいから、どうしてもやりたいと言った。私も彼の熱意に動かされて翻訳を承諾し、2020年12月に韓国で出版されました。

その頃はコロナ禍で韓国に行けなかったんですが、2021年1月にその本の紹介をするYouTubeの番組がありまして、「ペン&マイクテレビ」という当時67万人が登録していた番組の中で、有名な『月刊朝鮮』という雑誌の記者だった金容三(キム・ヨンサン)さんと翻訳者の李宇衍さんが対談したんですけども、こんな話がありました。

**金**「この本を書いた西岡先生的心情を、私はある程度推察してみたのです。本当に韓国人たちはあまりにもひどすぎる。政府もそうだし、最高裁もそうだ。集団的な一種の精神疾患にかかっているのではないかと感じるくらいですよ。歴史的

事実とは全く関係がない一種の虚像を根拠にして、2018年10月の戦時労働者判決が出たのですが、これを私たちはどうすれば良いのか。私はこの西岡先生の本を読みながら、本当に辛かったです。我々はこの程度の国でしかないのか。韓国の集団知性はこの程度の、ゴミ箱にしかならない状況なのか。」

李「2年前だったとしたら、このような本を翻訳したならばひどい目に遭ってしまっただでしょう。いまは大きく変わったではないですか。この本は世界自由保守叢書第一巻です。日本の自由右派たちと交流をし、討論し、連帯しなければならないと考えて、この本を翻訳しました。」

李さんが2021年の1月に「2年前」と言っているのが、2019年を指していることが分かります。2018年だったら翻訳など出せなかった。2019年の『反日種族主義』で韓国が変わったと言っているのです。金記者は「いまや、われわれは正常な国にならなければならない。事実にないことを根拠にして、最高裁までこのような判決を出せば、大韓民国の知性はないとみるべきではないですか。良心も正義もないということだ。どうして大韓民国政府と最高裁が、その悪辣な何人かの左翼知識人たちに惑わされてこのようなことをするのか、ということです。」「コロナが少し収まれば、本当に日本に対して謝罪団をつくって、土下座して申し訳ないという謝罪からしなければならないのではないか。ここまで、でたらめ、ウソ判決と無理すぎる主張をする政府を持つ国に希望がありますか」と、韓国を批判しているわけです。

李さんが「そこでまず、市民たちの小さな行動として、いま、毎週水曜日の12時に日本大使館前で慰安婦銅像撤去デモをしています。いま、59回になりました。1年を超えました」と言っています。李さんの発言時点では59回でしたが、この前ついに200回を迎えました。毎週やっています。鄭安基先生もそこに毎週出ています。正義連(元・挺対協)デモのすぐ横の場所です。そこで李さん達が「慰安婦像撤去、水曜集会中断、正義連解体」を叫んでいます。

金記者は番組の中で、「この本(『でっちあげの徴用工問題』)は、日本の本当の良心的知識人が韓国人の知性と良心に訴えるものです」と言っています。韓国で「良心的知識人」と言うと、朝日新聞や和田春樹氏らを指します。いつも「日本が悪い」と一方的に言う人たちが「良心的知識人」だと紹介されています。でも、ここで「本当の」という言葉をつけて、私のことを指しているわけです。金記者は「矢のように心に突き刺さる内容にあふれています。このような本を通じて、われわれは徴用工の問題が何であり、そして今後どのような大きな影響をわれわれに及ぼすのか、徴用工問題を主張している韓国最高裁と韓国政府と韓国の左翼がいかに勉強をしておらず、無知で嘘つきなのかについて、目覚めなければならないと思います」と言いました。

2019年から学者と運動家たちが立ち上がって、「今の韓国で主張している反日は嘘だ」、「国際法に反している」、「こんなことをやっていたら韓国は滅びる」という活動が公然と始まったんです。まだ始まったということで、社会全体の多数派になったとは言いませんが、ゼロと一は違うんです。これまでも部屋の中であれば、そういうことを言う人はたくさんいました。自分の名前でも本を出す、日の丸を持って慰安婦像の横でデモをするという人たちはいなかった。それを動かしたのは、「このままでは韓国がおか



しくなる」、「歴史の真実を知らないと韓国がおかしくなる」という、韓国人の中で目覚めた危機意識です。

その後、私の慰安婦問題の本（『よくわかる慰安婦問題』）も李宇衍さんが翻訳しました。『韓国政府と言論が語らない慰安婦問題の真実』というタイトルになったんですけど、そして秦郁彦先生の名著『慰安婦と戦場の性』も李さんが翻訳しました。今年の3月に我々歴史認識問題研究会は韓国を訪問しました。訪れた日が水曜日だったので、日本大使館前に行ったんですね。そしたらなんと、私の言うアンチ反日デモの参加人数が反日デモ（正義連）の人数を超えたんです。実は西岡たちが行くからと言って動員をかけてくれたので、毎回勝っているわけではないのですが、その時は李宇衍さんもそこにいました。日の丸もたくさんありました。

こちらは100人くらい集まって、正義連は30人から40人でした。少し寒い日だったので、向こうはデモを40分くらいして帰っていったんですけど、我々は弁士が多くて1時間半くらいずっとやっていました。実は現在、韓国では反日団体が分裂を起こしています。慰安婦像のすぐ横で黄色いジャンパー着た5,6人の大学生しかいないデモ集団がいました。この人たちは過激な北朝鮮支持派の人たちです。今の正義連は、どちらかというフェミニズムを前面に出しているの親北朝鮮派の人と仲が悪いんですね。一緒にやってないです。

アンチ反日デモでは大きな車を出して、そこで演壇を作っていたんですけど、私が韓国語に翻訳された本を持って上がると、大拍手で迎えられました。私は韓国で有名なんです。韓国のマスコミでは、悪い日本人の代表で有名なんですけど、ここに集まっている人たちは私の味方で、私の本を読んでくれている人が多いので、横にいる黒い背広を着ているのは金柄憲（キム・ビョンホン）さんという『赤い水曜日』という本を書いた人です。この人が李宇衍さんたちと合流して、毎週水曜日ずっと慰安婦像撤去の運動をし、ドイツまで行ってドイツの慰安婦像反対というデモもやったんです。李宇衍さんも一緒に行きましたけどね、「西岡先生、一緒に行きましょう」って誘われたんです



2023年3月15日、親北過激派学生たちの慰安婦デモの様子  
【提供：歴史認識問題研究会】

が、私ちょっと忙しくて行けなかったんですけど。

そして、今年の9月にはソウルの中心地で第2回慰安婦問題日韓合同シンポジウムが開かれました。ソウルの中心地にプレスセンタービルという建物があるのですが、左翼も頻繁に集会を開くし、国際会議とかも度々開かれる場所なのですが、その会議室に大きく韓国国旗と並んで日の丸が掲げられていました。最初に韓国の国歌斉唱と国旗に対する敬礼があった。韓国には国旗に対する敬礼という、国民儀礼があります。シンポジウム当日に「日本でも国民儀礼ってあるんですか」と訊かれたので、日本はないから君が代だけで良いよと言いました。それで、2番目に日本国歌斉唱があった。韓国人が大部分でしたが、参加した100人くらいが立ち上がって、日の丸に向かって君が代を大きな声で歌ったんです。韓国人の中でも君が代を知っている人がいて、歌ってくれる人もいました。次の日また日本大使館前に行ったら、ひと際大きな日の丸を準備してくれていました。日の丸を持っていた人は韓国人のジャーナリストでした。今、韓国ではそのような現象が起きているのです。もちろん、これが主流になったわけではありません。始まったということです。

2019年からアンチ反日が始まったと説明してきましたが、そのアンチ反日の中身についてお話をしたいと思います。私はアンチ反日と言っています。親日と言っていない。反日ではダメだということで、だからアンチ反日なんです。そのことが一番分かるのは、『反日種族主義』の原題に現れています。日本語版では副題が「日韓危機の根源」と書いてあります。しかし、原本である韓国語版の副題は「大韓民国危機の根源」と書いてあるんです。反日が大韓民国の危機の根源だ、というのが『反日種族主義』の主張なのです。韓国人が韓国を批判する本は、日本の書店に行ったらかなり並んでいます。しかし、それらの大部分は韓国語では出版されていません。日本の読者は韓国人の韓国批判を読みたいという需要があるから、日本だけで出版する。でも、『反日種族主義』は違うんです。韓国で先に出ているわけです。元々の副題は「大韓民国危機の根源」だったのですが、文藝春秋が日本で売るんだから日韓にさせていただきますと頼んで、それで「日韓危機の根源」に変えたそうです。

韓国の反日は、実は反韓なんです。韓国という国を否定する人たちが反日を叫んでいるんです。だから反日に目が眩んで大韓民国建国の本質がわからない、と鄭先生が仰いましたけれども、その本質を分からなくしているんです。ある一定の政治勢力が、大韓民国そのものを否定しようとしている。それが李栄薫（イ・ヨンフン）先生たちの言う反日種族主義なんです。『反日種族主義』の中で李先生はその歴史観をこのように



2023年3月15日、アンチ反日派のデモで登壇する西岡会長(写真中央)と李宇衍氏(写真右)、金柄憲氏(写真左) 【提供：歴史認識問題研究会】

言っています。韓国の左翼は自由民主主義から「自由」という言葉を取ろうとしている、と。憲法からも「自由」という言葉をとる憲法改正案を文在寅政権は一度作ったんです。このような反韓的韓国人の歴史認識は次のようなものです。自由理念を受け入れた韓国の改革勢力は1910年の日韓併合の際に親日派に変身して日本に協力し、日本の敗戦後は自身の既得権を守るために新しい帝国主義であるアメリカにくっついた、そうやって作られた国が大韓民国だ、と彼らは考えています。そして、今も自由云々と言っている者たちは軽薄な個人主義者で、親米親日の末裔たちだと信じている集団が今の韓国における反日の正体だ、と李栄薫先生たちは考えています。

反韓の人たちは自由を否定すると共に、大韓民国の建国も否定しているわけです。この反日種族主義を野放しにすれば、韓国は後進化してしまいます。李先生は「嘘の文化、政治、学問、裁判はこの国を破滅に追いやることでしょ」とも言っています。一番の鍵は親日派問題です。大韓民国は1948年に建国されましたが、反韓派はその建国は汚れたものだったという歴史観を持っています。その理由は、親日派を処分しなかったからだ、というのです。

日本にとって、李承晩（イ・スンマン）大統領は反日ですよ。李承晩ラインを引いて日本漁船を多数拿捕したなど、強い反日政策を取ったと言うけれども、韓国の反韓親北反日勢力から見ると、李承晩大統領は親日だったのです。なぜなら、日本に協力した親日派を処分しないで、建国に使ったからなんです。

鄭先生が詳細に説明したように、朝鮮人陸軍志願兵を軍の幹部にしたから韓国軍は汚れているんだ、と。軍隊だけではありません。経済官僚もそうです。警察もそうです。実は韓国が建国された直後に、国会が民族反逆者を処罰する委員会を作るという法律を通しました。その時は親日派という広い概念ではなく、民族に反逆した人、例えば日本の警察に協力して独立運動家を拷問した人などを調べて処罰する委員会でした。しかし、それを李承晩大統領が中断させてしまった、というのが韓国の左翼の一番の主張なんです。

李承晩大統領が親日派処罰の委員会を中断させた理由は、先ほども鄭先生が話して下さいましたが、韓国軍の中に共産党の信者がたくさん潜んでいたからです。韓国を建国するために実施された国会議員選挙を武力で阻止することを目的として、済州島で共産党が武装暴起しましたが、それを鎮圧するために軍隊を派遣したら、その軍隊まで反乱を起こしてしまい、反乱を起こした部隊も鎮圧しなければならない事態に陥った。それほど韓国軍の中に多くの共産主義者がいたんです。李承晩大統領は、日本統治時代のことを言うより、目の前の共産主義者を逮捕しないと韓国は持たないと考え、反民族行為特別調査委員会を事実上解散させたのです。それは大韓民国を大切にしたいからです。

しかし、1980年代に韓国の左翼の歴史学者たちが、委員会解散だけを指摘して批判する本を出します。『解放前後史の認識』という本なのですが、全6巻のシリーズです。1979年に出た第1巻は一時出版禁止になったのですが、80年代に韓国の大学に通った人は読んでいない人はいないくらい地下の大ベストセラーになって、その中でみんな反民族行為特別調査委員会というのがあったけど李承晩が解散させたんだ、李承晩は親日なんだ、という認識が広まります。朴正熙（パク・チョンヒ）大統領は満州軍官学



校出身で日本の手先だった人間だ、という認識も広まります。だから1965年の国交正常化の時、慰安婦問題を未解決にしたんだ、という論につながるわけです。

韓国は経済発展したが、民族という観点から見ると穢れている。北朝鮮は日本と銃を撃って戦った金日成（キム・イルソン）将軍が作り、中国軍もソ連軍も駐屯させないで民族の主体性を保っている。少し貧しいかもしれないが、それは民族の主体性を保っているからだ。大韓民国は米国を駐屯させ、日本資本も入れてアメリカと日本に魂を売り渡したから見てくれの豊かさがあるけれども、民族という観点から見たら穢れている。民族が国家より上に来るんです。しかし、国家があって国民意識があるわけです。

当時の戦前の日本は帝国でした。帝国というのは複数の民族がいるので、日本帝国に忠誠心を誓うことが、別に韓国に対する裏切りにならないわけです。だから、先ほどの鄭先生の話にあったように、徴兵制が導入されれば参政権が貰えると、日本帝国の中で朝鮮民族の権利を高めようとして、最終的な自治独立に持っていこうということが成り立つのは帝国だからです。一国一民族じゃなくて、帝国というのは複数の民族がいるんです。日本もそうだったんです。

大日本帝国に忠誠を誓うことと大韓民国に忠誠を誓うことがそんなに遠くなかったから国民という感情を持てたんです。それに対して、北朝鮮や韓国の左派たちがやっているのは民族を重視して、大韓民国自体を否定して、民族の清さは北にあると言っている。その理由は親日派か否か。親日派が悪いと言うためには日本の統治時代を悪くしなければなりません。「悪辣な」日本の統治に協力したのは親日派ですからね。1980年代にそういう歴史観が生まれたんです。

『解放前後史の認識』という本ですけども、特異なことは、その本にも慰安婦問題を書いてないんです。だから、慰安婦問題は日本発だということは間違いないわけですね。90年代になって北朝鮮も慰安婦問題を利用するんですが、80年代に韓国で行った大韓民国を否定する歴史観を拡散するという政治工作には、慰安婦問題は使われてなかった。だから、朝日新聞が一番悪いってことになるんですけども、それを説明すると時間がいくらあっても足りないので割愛しますが、そういうことを見抜いて、このまま反日が続ければ韓国が滅びるということを公然と言う人たちが現れたのが、2019年だったのです。

韓国にとって反日と戦うということは、実は自国が生きるか死ぬかの重大な問題なのです。尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領もそのことに気づいてきて、歴史戦争という言葉を使っています。韓国の中に民主化運動家、人権活動家を名乗っている反国家勢力がいる、どの国にも左翼と右翼がいていいが、反国家勢力は認められないという立場を表明しつつあります。そして、尹大統領は現在の自国民の歴史観が問題だと指摘して、韓国否定の歴史観を正さないと反国家勢力と戦えないとまで言っているんです。

文在寅大統領も実はそのことをよく分かっていた。朴槿恵（パク・クネ）政権時に韓国の国防部が、教育部に公式の要請文を出したことがあります。現行の義務教育の歴史教科書に書かれている内容では戦争できないので変えてくれ、と要請したんです。北朝鮮は民族の味方で敵は日本だ、ということしか書いていない。韓国は徴兵制だから、そういう認識を持った人たちが軍隊に入ってくる。国防部が教育部に公式に要請したんです。昔、韓国の歴史教科書は国定だったんですけど、民主化によって検定

に変わり、左翼が韓国を否定する教科書をどんどん作るんですね。例えば、1948年に朝鮮民主人民共和国樹立と書いて大韓民国政府成立と書いて、北朝鮮は「国家樹立」なのに韓国は「政府成立」なんです。その表記は今でも使われています。だから国防部が歴史教科書を修正してくれと要請したんです。検定だから意見をつけても左翼が裁判を起こします。たくさん裁判が起こるから、思ったような修正はなかなか実現しない。それで朴槿恵大統領は思い切って国定に変えたんです。

国定教科書は完成しましたが、学校で使用する前に朴大統領は弾劾されてしまいます。文在寅大統領は、当選して大統領に就任した次の日に、国定を廃止すると言いました。まだ教育部長官も任命していないにもかかわらずです。つまり、歴史戦争が大切だと文在寅大統領は分かっているんです。それが歴史認識問題なんですね。

韓国を見ていて、反共国家だったはずの韓国が何故こんなにおかしくなったのか。歴史戦に負けると自国の誇りを持ってなくなり、国は急速に悪くなる。韓国が1980年から急速に悪くなったのは、歴史戦争に負けたからです。日本もそういう危機にあるわけですが、なんとか安倍政権の下で歴史戦の巻き返しをして、韓国のようなところまで行かないで済んだのです。

アメリカでも今、歴史戦が行われています。アメリカの歴史を否定する勢力が今、権力を握っていて、アメリカの建国はメイフラワー号がアメリカに上陸した1620年ではなく、黒人奴隷が最初にアメリカに上陸した1619年だということを、ニューヨークタイムズが1年間かけて「プロジェクト1619」というキャンペーンを行いました。そういうことが世界的に起きていて、韓国でも起こっている。

今日私が皆さんにお伝えしたかったのは、韓国では反日を媒介にして韓国を否定するという動きが1980年代から起きていること。それに対して指導者たちは分かっていたけど、それを言うと親日派だと言われるから黙っていた。大多数の人たちは騙されていた。しかし、勇気ある人たち、それも植民地時代を経験していない若い世代が、学問の力で日本の統治時代は搾取の時代ではなかったことに気付き始めている。統治時代に韓国は経済成長した。人口が2倍くらい増えたんですけども、人口の増加率よりも経済成長率の方が高かった。つまり、1人当たりの生活が豊かになったということです。このような研究をしているのが、鄭安基先生が所属している落星台経済研究所です。膨大な統計資料を使って分析をしています。そのような蓄積があったからこそ『反日種族主義』が書けたのです。

その人たちは蓄積していたけど、大衆に訴えることはしなかった。しかし、覚悟を決めて2019年から表舞台に出てきた。

韓国では今、激しく歴史戦争が戦われているのです。でも、それは親日だからではなくて、韓国に対する危機感なんです。

そういう中で鄭安基先生も来てくださいましたけど、韓国の保守派の人たちが今言っているのは、日本の保守派が慰安婦や戦時労働者に対する嘘との戦いで培ってきた知識や経験を韓国の保守派は学ぶべきだ。しかし、日本の保守派で慰安婦の強制連行はないと言っている私みたいな人と会うと親日派とか歴史修正主義者だと言われるから、日韓の保守派の交流ができなかった。でも、それを乗り越えなくちゃいけない、という声が韓国の保守派から上がっていて、その人たちが日の丸をもって私たちを迎えてく



れる。それも2019年から始まりました。以上で私の話を終わりたいと思います。ありがとうございました。

## 質疑応答

**質問** 数日前、NHKが松代大本営地下壕建設で朝鮮人労働者を駆り出したという番組を流したのですが、その中で解説者である東京大学の外村大教授が、外国人労働者は使い捨てにされていたという偏った解説をしていたのが気になりました。日本では今でも、外村教授のような考え方が一般的なのでしょうか？

**西岡** 外村教授の思想や研究が大変歪んでいることを研究しているのが当研究会の長谷研究員で、外村教授の『朝鮮人強制連行』を批判する論文も書いています。長谷研究員は最近、北海道の日曹天塩炭鉱で働いていた朝鮮人戦時動員労働者の14ヶ月分、159人の賃金表を発見しました。個別にいくら貰っていたか、賃金とは別に家族手当も設けられていたんですね。それはもう差別とかじゃない。大変な好待遇で、炭鉱に動員はされたけれども高額な賃金が払われていたことが明らかになっています。外村教授は一次史料や統計資料ではなく、当時の座談会を引用して朝鮮人を無理やり連れてきたんだと主張しているんですね。

でも、よく読んでみたら言葉の切れ端をつないで強制連行があったとか奴隷労働だと言っているだけなんです。今までの個別の賃金表は、ひと月分しかなかったんですけども、北海道で長期間かつ大人数の賃金表が初めて確認できたので、産経新聞が記事にしてくれました。『歴史認識問題研究』第13号に長谷論文が出ていますので、ぜひ見ていただきたい。

もちろん私たちは学者ですから学術的に外村教授を批判してきました。私たちの研究もあるんですから、NHKが不偏不党に立つと言うなら、少なくとも両論を出してほしいと強く思います。長谷研究員が発見した賃金表について記者会見を開いたのですが、記事を書いたマスコミは産経新聞だけだった。朝日新聞は会見には来たんですけども記事にはしなかったです。こうした点も改善されるべきだと思います。

**質問** 先ほどテレビの話がありましたが、やっぱりテレビの影響力は大きいですし、これにどうすれば勝てるのかと思っています。また、最近では『「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし』という左翼の教授が書いた書籍が出版されて大学のゼミで使用されているという話も聞きます。こうした状況を打ち破り、勝つためにはどうすれば良いでしょうか？

**西岡** 私たちは学術団体です。歴史認識問題を戦争に例えて歴史戦と言いますがけれども、戦争のためには弾が必要です。弾は何かというと、学術論文です。一次史料を集めて学術論文を書かないといけません。それを基にして外交で主張して頂かねばならない。マスコミにも報道してもらわないといけません。これも我が研究会の勝岡事務局長が調査した日本国内の戦時労働者問題に関する論文とか本を整理すると、15%ぐ

らいが強制連行とか奴隷労働を否定しているもので、85%は強制連行があったという立場の人たちでした。しかし、先ほど言ったように賃金といった統計が分かる一次史料を使っていないわけです。その15%をよく見ると西岡力のものが多いわけですね(笑)。だから歴史認識問題研究会を作ったんです。

まずは研究をして、学術雑誌を出す必要がある。資料全体を読まなくちゃいけない。そういうことをやった上で、それを今度はどう広めていくかということですけど、我々の役割は史料を集めて研究することだと思っています。そして時々このように公開研究会を開いて、皆さんにその成果の一部を還元していくことが重要だと考えています。最近も自民党に呼んでいただいて講演をしましたが、国会の先生にもそういう話を聞いていただくという活動もやっていますが、メインは研究です。それができる環境を作るためにも、ぜひご支援もしていただきたいと思いますし、今の学界は残念ながら真っ赤です。東大にもそういう先生がいるわけです。大学院生もそういう人が権威だと、強制連行を否定すると就職できないんです。そういう社会なんですね。

我々はまず論文で勝負しなければならない。そのために一次史料を集めながら学術活動をやっておりまして、年2回『歴史認識問題研究』を出しております。ぜひこれをお手に取っていただいて、最新の研究を共有して周囲に広めて頂くだけでも支援になりますし、寄付も集めておりますので、勝てるかどうかという第三者じゃなくて、フィールドにいるつもりで一緒に日本国の名誉のために、そして自由民主主義勢力として韓国が変なふうにならないために一緒に戦っていければな、というふうに思っております。